

# 「ワーク・ライフ・バランス」の進め方

## 1 経営トップによる発信

経営トップ自ら全社員に、ワーク・ライフ・バランスの推進を宣言します。自らの取組姿勢を明確に示し、全社員に理解を促すためです。



## 2 体制づくり

ワーク・ライフ・バランスを推進する体制を検討します。兼任で担当者を決めるケースや、専任組織をつくるケースなど、自社にあった方法でスタートしましょう。

## 3 課題・ニーズ把握

自社の現状把握と業務の見直しがない限り、ワーク・ライフ・バランスの推進はできません。社員の構成、勤務状況、各種制度の利用状況などから、課題を抽出します。アンケート調査の実施などを併用して、社員のニーズを把握します。

## 4 制度づくり

課題やニーズに応じて、自社にあった制度づくりが大切です。有給休暇の取得推進策や、育児・介護休業制度、業務改善提案制度、短時間勤務制度などの整備や見直しを検討しましょう。

## 5 制度の導入・定着

制度の導入や定着には、全社員への周知・徹底が欠かせません。制度説明会の開催、制度のパンフレット制作、新しい規則の配布などを行います。また、制度が利用されているかを定期的に調べ、取組の見直しを行い、制度を定着させましょう。